

地域密着型金融実施内容(令和元年度)

	項目	具体的施策	実施内容	関連部署
<b>1. 顧客企業に対するコンサルティング機能の発揮</b>				
(1) 創業・新規事業 開拓支援	①コンサルティングサービスの機能強化	・外部専門家とも連携した企業コンサルティングの実施	・経営改善計画策定のために再生協や経営改善支援センターを利用。加えて各種の専門家を活用し、企業の実践的な課題解決を図った。 ・事業者向けの土日相談窓口を平日時間外にも拡充した。	事業支援部
	②創業・第二創業・事業承継案件に対する顧客・営業店支援	・個別案件の営業店のフォロー実施	・15件の創業支援を実施。創業支援案件の掘り起こし、営業店へのトスアップ、創業計画策定支援を行った。 ・営業店に創業先や第二創業先を含めた融資案件リストを元に地区別ブロック会議等で役員を含めた協議を行い、スピード感を持った取組みを行った。	事業支援部 融資部 業務推進部
	③行政等と連携した創業・第二創業・事業承継支援	・各種団体との連携、情報交換の実施 ・「地域クラウド交流会」の開催	・第4回 地域クラウド交流会開催(8/24) 輝け!第3回 地域クラウド交流会 全国グランプリ大会開催(10/27) ・豊岡市創業支援ネットワーク、事業引継支援センター等に加え、情報交換を実施している。 ・信金中金の地域創生支援パッケージを活用し、豊岡市へ創業支援施策を提案した。	事業支援部
(2) 成長段階における支援	①基盤産業、純新規先等に対する事業性評価の取組強化	・トレーニー制度の充実 ・事業性評価シートのブラッシュアップ ・コベナンツ当貸の活用 ・経営者保証を付さない融資取組	・事業性評価シートを随時更新し、ブラッシュアップを実施している。 ・業務推進委員会で純新規先に対する融資取組みの成功事例等を発表させ横展開を行った。	事業支援部 融資部 業務推進部
	②ビジネスマッチング事業の推進	・川上川下ビジネスネットワーク等の外部ネットワークの活用 ・イントラネットを活用した情報共有	・川上川下ビジネスネットワーク、SCBマッチング等を活用し101先のマッチングが成立した。 ・イントラネットを活用した情報発信を随時行った。 ・不動産関係の事業者2社とマッチング契約を締結。今期2件のマッチングが成立した。 ・当金庫がマッチング契約を実施している事業者一覧を作成し周知した。	事業支援部 業務推進部
(3) 経営改善・事業再生等が必要な顧客企業に対する支援	①支援先、支援サポート先への重点的な支援	・外部専門家、中小企業再生支援協議会等との連携 ・短期トレーニーの活用	再生協の活用件数は4件、経営改善支援センターの活用件数は5件。令和元年度は上記の通り各種の専門家を活用し、企業の実践的な課題解決を図った。	事業支援部 融資部
	②円滑化対応先の計画再策定指導および出口戦略の明確化に向けた支援		・事業支援短期トレーニーは実態把握・計画策定継続支援のために3件実施。	事業支援部 融資部
	③M&A仲介事業の推進	・M&A情報の充実 ・事業承継ネットワーク、あさご事業承継サポートセンター等との連携	・3先のM&Aが成立。 ・各種団体との連携体制は構築できている。	事業支援部 業務推進部
(4) 人材の養成	①利用者ニーズに対応できる十分な金融手法や各種事業の知識を持った人材の育成・活用	・各種セミナーやトレーニー受入等のOff-JTの実施 ・出前講座等のOJTの実施	・事業支援短期トレーニーは実態把握・計画策定継続支援のために3件実施。 ・融資に強い人材育成のため、融資部短期トレーニーを2件実施した。 ・現場力強化の一環として、学び合う協働学習を17件、個人営業力強化セミナーを3回(延べ64名参加)を実施した。	事業支援部 人事部

項目	具体的施策	実施内容	関連部署	
<b>2. 地域の面的再生への積極的な参画□</b>				
(1) 成長分野の育成、産業集積による高付加価値等に向けた地域の取組みへの積極的参加	① 地元産業の競争力向上・生産性向上に向けた取組	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日本財団「わがまち基金」を活用した靴業界後継者育成プロジェクト実施</li> <li>・城崎まちづくりファンドを活用した城崎温泉エリアの魅力向上支援</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日本財団「わがまち基金」を活用した靴業界後継者育成プロジェクト実施</li> <li>・城崎まちづくりファンドは新規投資事案が無かった。</li> <li>・事業所先へマルチQRコード決済等キャッシュレス加盟店の推進を図り37先を獲得した。</li> <li>・四半期毎に但馬管内の景気動向調査を実施。毎回結果を各事業所に還元した。</li> </ul>	事業支援部 業務推進部
	② 地域の観光客誘致にかかる取組	<ul style="list-style-type: none"> <li>・湯村温泉キャラバン隊の実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・年金旅行等の誘致のための湯村温泉キャラバンは一巡したため、見直しを検討。</li> <li>・当庫統一年金旅行実施の際、旅行先で協力頂く地元の信金に当地の観光施設等PRした。</li> <li>・他府県でつながりのある信金が年金旅行や顧客向け旅行を企画する際、当地飲食店や宿泊場所・観光地等を紹介した。</li> </ul>	事業支援部 業務推進部
	③ 行政等と連携した地域経済活性化に向けた取組	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各種団体との連携、情報交換の実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・豊岡市創業・事業承継支援ネットワーク、北近畿地域連携会議等、各種団体と情報交換を推進している。</li> <li>・四半期毎に実施した但馬管内の景気動向調査を定期開催される豊岡市経済連絡会議で説明実施。</li> <li>・消費者還元事業としてマルチQRコード決済等加盟店の導入を推進するとともに、当庫もA型事業者としてJ-Debitによる還元事業を展開した。</li> </ul>	事業支援部 業務推進部
<b>3. 地域や利用者に対する積極的な情報発信□</b>				
(1) 地域密着型金融の取組状況の地域および利用者への積極的な情報発信	① 取組内容についての情報発信	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ディスクロージャー誌(年度、半期)への掲載。</li> <li>・ホームページで取組内容の掲載。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ディスクロージャー誌およびホームページにリレバンについての情報公開をおこなった。</li> </ul>	総合企画部
	② 個別取組事項の発信	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域との連携や取組事例のFacebook配信。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域クラウド交流会全国大会など、随時当金庫の取組についての情報発信をおこなった。</li> </ul>	総合企画部

(公表数値)

項目	令和元年度目標	令和元年度結果
不良債権比率(金融再生法に基づく資産査定開示債権)	4.0%	4.4063%
事業貸出先全体に対する債務者区分のランクアップ先数	30先	9先
経営改善支援取組先に対する債務者区分のランクアップ先数	5先	4先